



区が、11月4日に出した「平和の森公園再整備基本設計」で…またもや大問題が！

① バーベキューサイトが追加！

ごみの処理や匂いによる影響をどのように対処するのでしょうか？また、飲酒・トラブルもつきものです。

② ふかふかの「おやま」が

なぜコンクリートのすべり台に？！

ふかふかの草地で何もないからこそ、ヨチヨチ歩きの子どものびのびと遊べる今の築山。区民の声は「今のまま」なのに……。

③ 野球の中堅85m ➡ 90m

中堅が「5m」長くなって、緑はさらに減らされるのではないのでしょうか？！

緑とひろばは 中野の宝 次世代につなごう 平和の森公園

平和の森公園は、中野刑務所(元)の跡地です。戦後まもない昭和29(1954)年から、移転を求める運動が始まり30年経った昭和60年(1985)年に平和の森公園として開園しました。急速に過密都市化する中野の町に「緑と広場の避難場所を！」という願いで、区民はもとより町会・中野区・区議会など全区をあげての運動と話し合いの末に実現したものです。開園当初に植えられた木々は大きく育ち緑豊かな森に成長しました。いま公園では、当時の願い通り、あらゆる世代の人々が訪れ、思い思いに楽しくのびのびとしたひと時を過ごしています。平和の森公園は、広い空とみどりが減りビルが立ち並ぶ中野の街の宝です。

「平和の森公園を次世代につなぎたい！」 この声を中野の街に響きわたらせましょう！！